



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月5日

上場会社名 川本産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3604 URL <http://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川本 武
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務執行役員管理本部長 (氏名)佐々木 功雄 (TEL)06(6943)8951
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	7,603	1.8	75	△40.6	94	△8.7	52	△10.0
25年3月期第1四半期	7,466	1.9	126	146.4	103	449.2	58	568.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	8 73	-
25年3月期第1四半期	9 71	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	19,066	4,943	25.9
25年3月期	18,758	4,919	26.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,943百万円 25年3月期 4,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	7 00	-	7 00	14 00
26年3月期	-				
26年3月期(予想)		7 00	-	7 00	14 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,943	△0.2	62	△77.1	44	△81.0	26	△80.3	4.41
通期	30,650	2.3	232	△46.4	200	△58.3	118	△55.2	19.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	6,000,000株	25年3月期	6,000,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	8,181株	25年3月期	8,181株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	5,991,819株	25年3月期1Q	5,991,819株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、円高是正に加え、株価回復が進み景況感の改善が見られるものの、実体経済への反映には至らず、また中国経済の成長減速が鮮明になりつつある等海外景気は力強さに欠け、全体として先行き不透明感は払拭されておられません。当医療衛生材料業界におきましても、診療報酬が僅かながらプラス改定になりましたが、国の医療費抑制の動きに、円安による輸入品の仕入価格上昇の要因も加わり、引き続き厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下で当社の当第1四半期累計期間の業績は、売上高は76億3百万円（前年同四半期比1.8%増加）、営業利益は75百万円（同40.6%減少）、経常利益は94百万円（同8.7%減少）、四半期純利益は52百万円（同10.0%減少）で増収減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(国内向け)

製品売上高では、衛生材料においては低収益製品の販売見直しを継続的に行ったことで減少いたしました。医療用品では重点販売製品の販売を一層強化したことで、「感染予防関連製品」、「セットパック製品」が増加し、介護用品では「口腔ケア用品」が継続して増加しております。一方アパレル製品では、市場規模の縮小が続く「ねまき」が減少しましたが、和テイストブームによって「てぬぐい」関連製品は増加いたしました。

商品売上高では、販売体制の連携を強化したこともあって大手量販店向け販売が好調に推移し、育児用品が増加いたしました。

これらの結果、売上高は74億6百万円（同2.6%増加）となりました。

(海外向け)

国内製の高付加価値の衛生材料や医療用製品に海外からの調達品を加えた製品群を、幅広い市場に対して積極的に販売いたしました。これらの結果、一部地域で新規取引を開始したものの、主力の中近東市場における医療機器輸入制度の改正の影響が継続しており、売上高は1億96百万円（同21.3%減少）となりました。

利益面では、当第1四半期累計期間が前年同四半期と比して大幅な円安となったことに伴い、輸入品の仕入コストが増加し製品利益率が低下いたしました。この影響で売上総利益率は前年同四半期に対して0.6ポイント低下し、売上総利益は14億45百万円（同1.3%減少）となりました。

経費面では、販売費及び一般管理費はコスト削減に注力いたしましたが、売上高増加に伴う物流経費増の影響等で13億70百万円（同2.4%増加）となりました。

営業外収益では、当第1四半期会計期間末の為替相場が前事業年度末に対して円安となったこと及び過年度に評価損を認識した為替予約を実行し、為替予約残高が減少したため、デリバティブ評価益（為替予約評価益）が24百万円（前年同四半期は1百万円の評価損）発生いたしました。

営業外費用では、引き続き「支払利息」及び「債権売却損」の総額削減を目的として債権の割引減少に努めた結果、合計額は16百万円（同24.8%減少）となりました。また、当第1四半期累計期間の為替相場が前年同四半期に比して円安で推移したことにより、為替差損は前年同四半期の23百万円に対して7百万円と減少いたしました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の総資産は190億66百万円で前事業年度末に対して3億7百万円増加いたしました。

流動資産は、142億17百万円で前事業年度末に対して3億16百万円増加いたしました。「現金及び預金」が1億13百万円減少、「たな卸資産」が1億89百万円増加、「未収入金」が2億52百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、48億48百万円で前事業年度末に対して9百万円減少いたしました。有形固定資産で、「リース資産」が21百万円増加、投資その他の資産で、「投資有価証券」が23百万円増加、「長期貸付金」が50百万円減少したことが主な要因です。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は141億22百万円で前事業年度末に対して2億83百万円増加いたしました。

流動負債は、98億44百万円で前事業年度末に対して3億51百万円増加いたしました。「短期借入金」・「1年内返済予定の長期借入金」が5億69百万円増加、「未払法人税等」が1億45百万円減少、「預り金」が94百万円増加、「賞与引当金」が1億57百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、42億78百万円で前事業年度末に対して67百万円減少いたしました。「長期借入金」が86百万円減少、「リース債務」が26百万円増加、「退職給付引当金」が16百万円増加、「為替予約」が24百万円減少したことが主な要因です。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は49億43百万円で前事業年度末に対して23百万円増加いたしました。「繰越利益剰余金」が10百万円増加、「その他有価証券評価差額金」が13百万円増加したことが要因です。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後も厳しい環境が継続すると見込まれるなか、当社は、重点施策である「自社製品の開発促進と販売との連携」、「販売業務の効率化」、「海外向け販売拡充の体制構築」、「物流業務の効率化」に注力するとともに、効率的な経費支出を推進し、安定した収益の確保につなげてまいります。

業績予想につきましては、平成25年5月13日発表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,736,724	1,623,345
受取手形	1,563,868	1,538,927
売掛金	4,387,076	4,428,462
商品及び製品	1,946,566	2,089,537
仕掛品	354,565	387,165
原材料及び貯蔵品	153,636	167,126
繰延税金資産	195,896	153,540
未収入金	3,509,584	3,761,640
その他	54,707	68,979
貸倒引当金	△1,781	△972
流動資産合計	13,900,845	14,217,752
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,349,378	1,328,428
機械及び装置（純額）	101,246	93,937
土地	1,999,059	1,999,059
リース資産（純額）	53,924	75,217
その他（純額）	81,389	80,840
有形固定資産合計	3,584,997	3,577,482
無形固定資産		
リース資産	9,792	8,459
その他	41,308	42,030
無形固定資産合計	51,101	50,490
投資その他の資産		
投資有価証券	565,243	588,721
長期貸付金	150,000	100,000
繰延税金資産	126,984	125,460
その他	399,560	426,398
貸倒引当金	△20,485	△20,294
投資その他の資産合計	1,221,303	1,220,286
固定資産合計	4,857,403	4,848,259
資産合計	18,758,248	19,066,012

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,812,147	2,784,600
買掛金	1,970,242	2,004,236
短期借入金	2,136,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,396,184	1,401,601
リース債務	49,954	43,992
未払金	89,439	59,293
未払費用	441,699	472,969
未払法人税等	153,794	7,980
預り金	15,094	110,038
賞与引当金	231,884	74,504
役員賞与引当金	9,000	—
売上割戻引当金	170,921	172,220
その他	16,197	13,008
流動負債合計	9,492,560	9,844,446
固定負債		
長期借入金	3,717,778	3,630,927
リース債務	16,948	43,868
退職給付引当金	516,750	532,870
資産除去債務	16,608	16,842
為替予約	40,956	16,714
その他	36,938	36,789
固定負債合計	4,345,980	4,278,011
負債合計	13,838,541	14,122,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,000	883,000
資本剰余金		
資本準備金	1,192,597	1,192,597
資本剰余金合計	1,192,597	1,192,597
利益剰余金		
利益準備金	86,100	86,100
その他利益剰余金		
配当引当積立金	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	1,576,845	1,587,261
利益剰余金合計	2,667,945	2,678,361
自己株式	△3,666	△3,666
株主資本合計	4,739,876	4,750,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	179,830	193,262
評価・換算差額等合計	179,830	193,262
純資産合計	4,919,707	4,943,554
負債純資産合計	18,758,248	19,066,012

（2）四半期損益計算書
第1四半期累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
売上高	7,466,235	7,603,454
売上原価	6,001,888	6,157,999
売上総利益	1,464,347	1,445,454
販売費及び一般管理費	1,337,773	1,370,289
営業利益	126,573	75,164
営業外収益		
受取利息	848	626
受取配当金	6,456	6,394
デリバティブ評価益	—	24,241
仕入割引	9,705	10,601
その他	7,778	4,836
営業外収益合計	24,789	46,701
営業外費用		
支払利息	15,653	16,015
為替差損	23,048	7,419
その他	8,934	3,744
営業外費用合計	47,636	27,179
経常利益	103,726	94,687
税引前四半期純利益	103,726	94,687
法人税、住民税及び事業税	5,255	5,471
法人税等調整額	40,263	36,858
法人税等合計	45,518	42,329
四半期純利益	58,207	52,358

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。